

埼玉大学教育学部附属特別支援学校  
第51回 特別支援教育研究協議会

# 児童生徒の 確かな学びを目指した 授業づくり (2年次)

「各教科等を合わせた指導」における学習評価の研究



後援:埼玉県教育委員会 さいたま市教育委員会 埼玉県特別支援教育研究会 埼玉県連合教育

令和6年2月10日(土) 12:30~16:30

オンライン開催 **参加費無料**

**特別講演** 弘前大学大学院 教授 **菊地一文 氏**

「学習評価を踏まえた『各教科等を合わせた指導』の単元づくり・授業づくり」  
(仮題)

## ■ 研究の背景

- ▶ 本校の「各教科等を合わせた指導」の根底には、生活そのものを取りだし、生活を通して学ぶことを大切にする「生活総合学習」の考え方があります。現在も「各教科等を合わせた指導」を教育課程の中心に据え、共同・協同・協働して学べる授業づくりに取り組み、児童生徒の生き生きと活動する姿、主体性を引き出すことを目指しています。
- ▶ しかし、主体性や協働性に重点をおき、学習活動を充実してきた一方で、それらの学習活動を通してどのような教科等の目標・内容を扱っているのか、その目標・内容についてどのように評価するのかということを確認にできていませんでした。
- ▶ そこで本研究では、「各教科等を合わせた指導」の学習評価に注目しました。



### 何の評価？

どの教科等のどんな力が身についたのか  
各教科等の目標・内容との関連が不明確



適切な学習状況の評価、  
授業改善につながりにくい

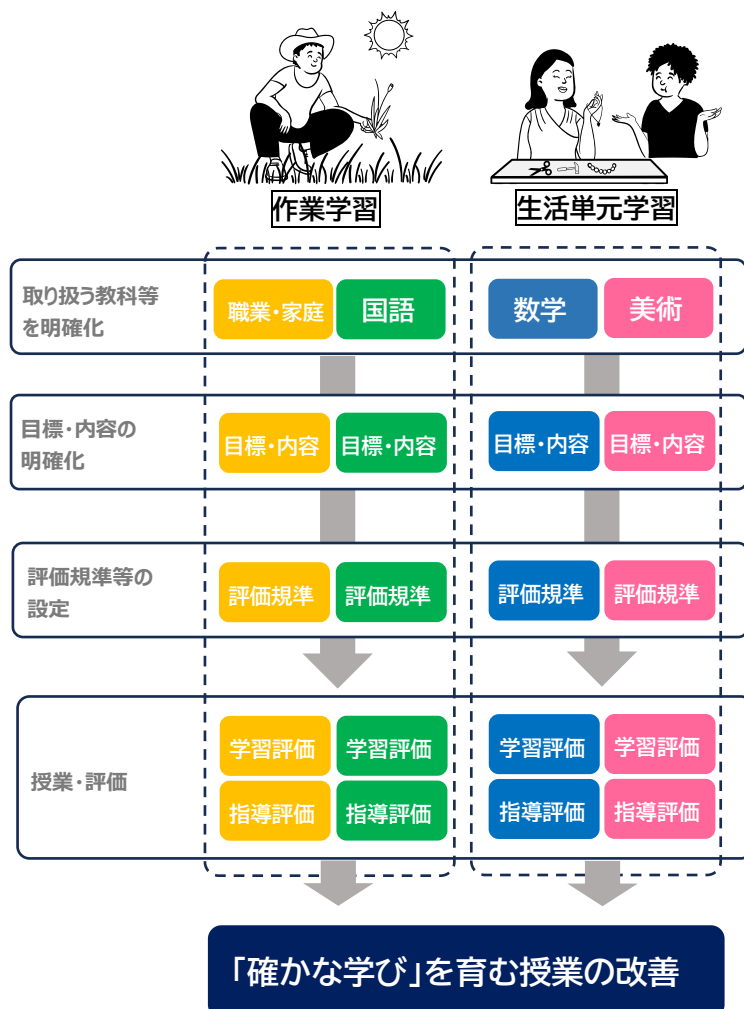
## ■ 研究の取組

- ▶ 本研究では、「各教科等を合わせた指導」の授業における学習評価を改善することで、児童生徒の「確かな学び」を育む授業づくりを目指しています。

「確かな学び」（本研究における定義）

「確かな学力」及びそれを身に付ける過程で、自身の学び方、ともに学ぶ仲間や相手、環境を意識し、実際の生活の場面で活用できること

- ▶ 1年次は、1単位時間の授業において、どのような教科等の目標・内容を扱っているかを分析し、教科等ごとに評価規準を設定して学習評価を行いました。
- ▶ 2年次である今年度は、「単元」に焦点を当て、単元を通して取り扱う各教科等の目標・内容を整理し、それを踏まえた単元計画（評価計画）の検討、実践を行っています。



- ▶ 単元計画の作成及び学習評価を行うにあたって、「単元の評価シート」を作成、活用しています。
- ▶ 「単元の評価シート」を用いることで、単元を通した各教科等の目標・内容を明確にし、評価規準の設定と評価、学習評価に基づく授業改善の方法等を明らかにすることに取り組んでいます。

### 単元の評価シート（単元の指導計画）

本単元で取り扱う各教科等の内容を明確にする。

| 各教科等 | 段階 | 内容のまとめり  |           |
|------|----|----------|-----------|
| (家庭) | 中1 | B 衣食住の生活 | イ 調理の基礎   |
| 国語   | 中1 | B 書くこと   | B 書くこと    |
| 職業   | 中1 | A 職業生活   | A 働くことの意味 |

単元において、各教科等の内容を3つの観点でバランスよく育成し、評価できるよう指導計画を立てる。

(例)

| 学習活動      | 教科等 | 知 | 思 | 主 |
|-----------|-----|---|---|---|
| ラーメンを作ろう  | 家庭  | ○ |   |   |
| ラーメン屋を開こう | 家庭  |   | ○ | ○ |
|           | 職業  | ○ | ○ |   |
| 振り返り      | 国語  | ○ |   | ○ |
|           | 職業  |   |   | ○ |

### 単元の評価シート（個々の単元の評価）

単元で取り扱う各教科等について、学習指導要領に示された内容を踏まえて、個人の評価規準を設定する。

児童生徒の実際の姿から行った学習評価、指導の評価を記録し、それを踏まえた授業改善を行う。

単元を通した評価・記録を根拠に、各教科等の評価規準に準拠した学習評価を行う。

## 実践報告

- ▶ 各学級における単元の設定から学習評価までの実践について報告します。
- ▶ 各実践報告の動画は、事前にHPに掲載する予定です。



|     | 学級    | 単元名                               | 授業者             |
|-----|-------|-----------------------------------|-----------------|
| 小学部 | 1組    | 生活単元学習:にっしんたんけんをしよう               | 荒木魁斗 神保まなみ 外山小織 |
|     | 2組    | 生活単元学習:あきをたのしもう                   | 鈴木健太 岩淵睦        |
|     | 3組    | 生活単元学習:レッツゴー!おたすけマン               | 三浦光里 佐藤孝        |
| 中学部 | 1年    | 生活単元学習:看板とガーランドを作ろう               | 谷内田怜 福土夏実       |
|     | 2年    | 生活単元学習:収穫した野菜の調理研究をしよう            | 丸山碧 柳瀬貴之        |
|     | 3年    | 生活単元学習:はたらく学習 ~エピソード6:現場実習体験をしよう~ | 長谷川秀丸 福谷ちづる     |
| 高等部 | Aグループ | 生活単元学習:季節を楽しもう~冬の食材を使って~          | 峯岸誠 松岡加織        |
|     | Bグループ | 生活単元学習:秋のおもてなし~Bグループマルシェ~         | 仙石大吾 齊藤可奈子      |

## ■ 日程

- ▶ すべてオンラインで行います。受付後、全体会后、zoom ミーティングのブレイクアウトルーム機能を使用して、ご希望の学部・実践報告の研究協議にご参加いただきます。
- ▶ 講演会では、全体のミーティングに接続して、ご講演をお聞きいただきます。

| 12:30~ | 13:00~ | 13:20~      | 13:40~ | 15:10~ | 16:30 |
|--------|--------|-------------|--------|--------|-------|
| 受付     | 全体会    | 分科会<br>実践報告 | 研究協議   | 講演会    | 閉会    |

## ■ 研究協議・指導助言者

- ▶ 各実践報告を基にして、単元の学習評価の考え方や方法、それらを踏まえた授業づくりについて協議を行います。指導・助言者の先生方からは、ご専門の見地から実践内容や研究結果について、ご指導・ご助言をいただきます。

|     |  |                         |
|-----|--|-------------------------|
| 小学部 | 埼玉県教育局 市町村支援部 義務教育指導課 学びの支援担当<br>埼玉大学教育学部 特別支援教育講座     | 指導主事 山崎 慎也<br>准教授 山中 冴子 |
| 中学部 | 埼玉県教育局 県立学校部 特別支援教育課 特別支援学校教育指導担当<br>埼玉大学教育学部 特別支援教育講座 | 指導主事 但野 智哉<br>教授 葉石 光一  |
| 高等部 | 埼玉県教育局 市町村支援部 人権教育課<br>埼玉大学教育学部 特別支援教育講座               | 指導主事 堀口 剛<br>教授 名越 斉子   |

## ■ お申込み

- ▶ 参加方法…オンライン(zoom ミーティング)
- ▶ 参加費……無料
- ▶ 申込方法…下記のリンク または QR コードからお申込みください  
<https://forms.office.com/r/vGnzfeQ2jb>
- ▶ 申込締め切り **令和6年 2月2日(金)17:00**



参加申込

## お問い合わせ



### 埼玉大学教育学部附属特別支援学校

〒336-0021 埼玉県さいたま市北区日進町 2-480

電話:048-663-6803

HP : <https://fuyou.saitama-u.ac.jp/>

担当:研究主任 平田祐也

Mail : [hiratayuya2@mail.saitama-u.ac.jp](mailto:hiratayuya2@mail.saitama-u.ac.jp)



学校 HP